

大阪府立高等学校養護教員会 5地区第7回地区研究会 開催概要

日 時 : 2014年3月5日 水曜日
会 場 : 大阪府立夕陽丘高等学校 会議室(大阪府大阪市天王寺区北山町10-10)
対 象 者 : 大阪府立高等学校に勤務する養護教諭及び学校勤務教諭
参 加 者 : 21名
講演共催 : 日本子宮内膜症啓発会議、バイエル薬品株式会社

大阪府立高等学校に勤務する養護教諭と学校勤務教諭を対象に、講演『子宮内膜症の現状と課題～子宮内膜症は治療の時代から未病の時代へ』を開催した。基礎的な女性の身体と月経のしくみから、現代女性のライフスタイル変化に伴う子宮内膜症の現状を解説し、早期に婦人科を受診することの重要性を講演した。

質疑では薬剤治療に対する不安についての話題があがり、薬剤治療のリスクとベネフィットについて話し、副反応の兆候があれば早期に必ず婦人科を受診して欲しいと伝えた。また、婦人科に関連する疾患として養護教諭が学校現場で直面している子宮頸がんワクチンについての質問もあがった。講演終了後には参加者から日常の生徒への指導としても、自分事としても改めて考える機会となったと感想が寄せられた。

【プログラム】

14:00～15:00

【講演】 「子宮内膜症の現状と課題
～子宮内膜症は治療の時代から未病の時代へ～」
堀内 吉久 (日本子宮内膜症啓発会議 事務局長)

15:00～15:15

質疑応答

配布資料: 講演スライド資料、JECIE中高生向け啓発冊子、啓発冊子2種(バイエル薬品提供)

